



- 令和6年度の開二中のスローガンは、「開二魂の復興～それから～」です。
- そして、合言葉は、「共感・感謝・敬意」です。

校長 牧野 英一

令和6年4月号では、令和6年度の全校朝会で生徒に話した内容を紹介させていただきます。

新入生が入学して、約1週間が過ぎました。本日は、改めて、中学生としてルールやマナー、身だしなみ、あいさつの意味について考えてみたいと思います。

### 1 「ルールやマナー」の意味

「ルール」とは、集団に所属する一人一人が安全・安心な生活を送るために自然発生的に生まれた「必要最小限の約束」なのではないか。

そして、「ルール」とは、「注意する側」と「注意される側」に分かれて一方的に指示を出すものではなく、「より良い学校生活を送るためには、自分はどうすればよいのか」という視点で、「双方向で互いに声をかけ合う」ことが大切なのではないか。

「マナー」については、学校生活・集団生活をより豊かに過ごすために必要な「思いやり」なのではないか。

一人ひとりがマナーは、なぜ必要なのか考え、相手のことを少し考える余裕をもてば、「学校生活はより豊か」になり開二中はより良い雰囲気になると思います。

### 2 身だしなみの意味

身だしなみは、「無言の招待状」と呼ばれ、相手に対する敬意を無言で表現するものです。そして、第1印象の約90%が、身だしなみ、つまり外見で決まると言われています。また、進路決定など、皆さんの人生の重要な場面で、大きな影響を与えます。その理由としては、

(1) 見かけと内面が全く違う人はいない。(2) 人間関係で印象から始まる判断は非常に大切だからです。そして、ある人の見た目の印象を決める時間は、3秒とも言われています。身だしなみの3原則は、

(1) 清潔感 (2) 時間・場所・場面に応じている。(3) 品位があることです。品位とは、相手を尊重する気持ちが表れたものです。

身だしなみと似ている言葉として、おしゃれがあります。身だしなみは、相手に対する敬意を無言で表現し、相手に信頼を与えるような服装です。おしゃれは「自分が好きな服装」で、自分のために身につけ自分が満足している服装と言われています。自分の好きな髪形、ピアス、メイクなどでしょうか。

本校では標準服を基調として、服装や髪型、言葉遣いなどを体験的に学んでいます。改めて聞きますが、皆さんは、標準服を着る際に、清潔感、時間・場所・場面、品位などの3原則を考えて、練習していますか。現在の身だしなみで、進路を決定する大切な場面に臨めますか。本校では、細かいルールを具体的に定めてはいませんが、今まで話したような理由から、皆さんの身だしなみに課題があると感じた際には、仲間や先生から声をかけて、双方向で考え、身に付けてほしいと思います。

### 3 あいさつの意味

身だしなみが「無言の招待状」であれば、あいさつは「有言の招待状」と呼ばれ、「共感・感謝・敬意」など相手を大切にしたい気持ちを表現するものです。相手を選ばずに自分から声をかけることが多様性を受容するスタートです。自分と身近な人のことに精一杯になるのではなく、顔を上げて相手の存在に気付いて、双方向の関係で、互いの存在を認め合うことで、開二中により良い雰囲気を創り出していきましょう。